

## 第1回子ども・子育て会議 会議録（要点筆記）

**開催日時** 令和3年7月30日（月）午後2時～3時45分  
**開催場所** 南砺市役所福光庁舎 別館3階 大ホール  
**出席委員** ・碓井 好彦 会長 ・宇野 雪江 副会長 ・上坂 紀子 委員 ・大河原 晴子 委員  
・川合 留里 委員 ・唐嶋 田鶴子 委員 ・北清 俊一 委員 ・斉藤 優華 委員  
・澤田 恵子 委員 ・新明 春生 委員 ・竹中 友佳子 委員 ・塚八 栄治 委員  
・永井 節子 委員 ・鉢舘 圭伸 委員 ・前田 啓子 委員 ・前田 佳弘 委員  
・山崎 晃 委員（代理出席） ・正門 マヤ 委員（代理出席）（18名）  
**欠席委員** ・磯辺 文雄 委員（1名）  
**事務局** ・松本 謙一（教育長） ・村上 紀道（教育部長） ・河原 洋子（福光保健センター所長）  
・溝口 早苗（こども課長） ・吉岡 亘（こども課） ・荒井 昌宏（こども課）  
・山田真由美（こども課） ・石崎 裕子（こども課） ・上水 沙貴（こども課）  
**傍聴人数** 0名

### 1. 開会

事務局 新委員の委嘱、委員の紹介、資料の確認、会議の公開等について説明。

### 2. あいさつ

副会長 この子ども・子育て会議は、子ども・子育て支援事業計画の実施状況等を協議する場である。  
新しい委員7名を迎えて、この計画がさらに充実したものになるように、委員の皆さんからの  
忌憚のないご意見をお願いしたい。

### 3. 会長の選出

事務局 昨年度まで会長の三谷会長の委員交代により、新たに会長を選出する必要がある。「南砺市子ども・子育て会議条例」第4条では、会長は、「委員の互選により定める」となっているが、いかがが取り計らえばよいか。

A委員 事務局案があれば提案してほしい。

事務局 事務局案として、会長に南砺市地域づくり協議会連合会から推薦をいただいた碓井 好彦 委員をお願いしたいと思うが、賛成の方は拍手をお願いしたい。

全委員 拍手

事務局 全委員の拍手により、会長を碓井 好彦 委員に決定する。

会長 会長を務めることになった碓井です。力不足ではありますが、精一杯努めていきますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

#### 4. 報告事項

第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画の令和2年度の進捗状況について

- (1) 計画の位置づけと進行管理（点検・評価）[資料1](#)
- (2) 令和2年度 施策の展開 実施状況 [資料2](#) [参考資料1](#)
- (3) 令和2年度教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の実施状況 [資料3](#)
- (4) 令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策事業 [資料4](#)
- (5) 令和2年度 南砺市総合計画事業 [資料5](#)

事務局から資料により説明

#### 〈主な質疑、意見〉

B委員 「子育て支援」と「子育て支援」の違いは何か。

事務局 子ども・子育て支援事業計画の38ページに記載してあるとおり、「子育て支援」は、子どもの育ちを中心に捉えて、そのためにどういう社会をつくっていくのか考えていくことで、「子育て支援」は、子どもを育てる側である親・大人への支援をしていくことです。

#### 5. 協議事項

第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画の令和3年度の取組について

- (1) 令和3年度 教育・保育施設の利用定員と認可定員について [資料6](#)
- (2) 令和3年度 特に重点的に実施している事業・取組について [資料7](#)
- (3) 南砺市子どもの権利づくり条例事業について [資料8](#)

事務局から資料により説明

#### 〈主な質疑、意見〉

副会長 「祖父母子育て講座」とあるが、今年度を実施するのか。

事務局 祖父母に孫育てに必要な知識を身につけてもらうことが必要であると考えているので、コロナの状況を見ながら実施していきたい。日時等詳細が決定したら、市ホームページ等でお知らせしていく。

B委員 子どもの権利条例づくり事業について、「条例」と「条約」の違いは何か。

事務局 1989年に国際条約である「子どもの権利条約」が定められているが、日本ではまだ知られて

いない。このため、「南砺市子どもの権利条例」を作り、子どもの権利について考えるきっかけづくりにしたい。

C委員 南砺市PTA連絡協議会では、「子どもの権利条例」について周知していくが、子どもたちへの周知はどのように考えているか。

事務局 小学校の道徳の時間に、「いやなことはしない」、「喜んでもらえることをする」、「いじめをしない」などを子どもたちに伝えている。

C委員 保育園ICT支援システム「コドモン」について、携帯に案内が届くのはとても好評と聞いている。小・中学校にも導入してほしい。

事務局 メール案内では不安という声もあるため、導入については、慎重に考えていきたい。

D委員 「子どもの権利条例」について、PTA拡大委員会で説明をしてもらった。役員の9割がもっと話を聞きたいと思っている。2月に講演会があるので、保護者のみなさんや子どもたちにも聞いてほしい。

事務局 現在、小・中学校をまわって、PTA役員を対象に説明している。今後は、コロナの状況を見ながら、保育園や地域づくり協議会にも広げていきたい。

会長 市PTA連絡協議会や、地域づくり協議会にも広げて、より良い環境づくりをしてほしい。

E委員 保育園の利用定員が0・1・2歳で多くなっている。小さいお子さんは、保育園ではなく、家庭で見るのが子どもにとって良いのではないか。

事務局 そのとおりだと考えている。企業側にも、育児休暇がしっかりととれる環境づくりをお願いしていく。

F委員 身近であるはずの「子どもの権利」がないがしろになっているように思う。安心・安全を優先し、過保護になっている場合が多く、大人が邪魔をしている。この「子どもの権利条例」が、地域や大人が考えるきっかけになればいい。

G委員 「なんと！やさしい子育て応援企業認定制度」について、くわしく教えてほしい。

事務局 いくつかの調査項目があり、点数が満たされれば認定している。認定企業が増えていくように、市ホームページ等で周知していきたい。

G委員 「なんと！やさしい子育て応援企業認定制度」は、毎年行っているのか。

事務局 毎年行っているが、一度認定されれば継続するので、年々増加している。

## 6. その他

### 事務局から今後のスケジュール等について

来年の2月頃に第2回子ども・子育て会議を開催し、教育・保育施設の定員変更や、令和3年度及び令和4年度の事業の取組等について協議いただく予定である。

### 〈主な質疑、意見〉

質疑なし

## 7. 閉会

副会長 本日は委員のみなさんからたくさんのご意見をいただき、充実した時間を過ごすことができました。今後も市をあげてみんなでつながっていきましょう。

教育長 長時間にわたって協議いただきありがとうございました。市では、誰ひとりとり残さない子育て環境を目指して、教育総務課や保健センターなどの関係課と一丸となって取り組んでいる。今後も、どのようなことでも構わないので、いつでもご意見をいただきたい。

午後3時45分 終了